

各 位

東京都港区海岸三丁目26番1号
株式会社プラネット
代表取締役社長 玉生弘昌
(コード番号: 2391)
問合せ先 執行役員管理部長 染谷 実
電話番号: 03-5444-0811

平成16年7月期の業績予想について

平成16年7月期(平成15年8月1日~平成16年7月31日)の業績予想について、下記の通りお知らせいたします。

記

【通期】

項目	期別	平成16年7月期(予想)			平成15年7月期(実績)	
		金額(百万円)	構成比(%)	前期比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
売上高		2,085	100.0	105.1	1,984	100.0
経常利益		226	10.8	86.6	260	13.1
当期純利益		146	7.0	175.1	83	4.2
1株当たり当期純利益		17,609円45銭			10,331円43銭	
1株当たり配当金		普通配当4,000円 記念配当1,000円			3,000円	

(注)平成15年7月期の1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出し、平成16年7月期(予想)の数値については、公募予定株式数800株を加えた予定期末発行済株式総数8,291株で算出しております。

ご注意：この文章は当社の平成16年7月期の業績見通しを一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資に際しては、当社が作成する新株式発行届出目論見書(訂正事項分を含む)を必ずご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行なうようお願いいたします。

<平成 16 年 7 月期業績見通しの前提条件>

(a) 全般的な見通し

当社の売上、利益の基礎となっている既存の E D I サービスについては、近年の I T 化の波、流通業界における E D I 進展の追い風を受け、年々データ量は増加しており、今後も引き続き堅調な伸びを示すものと思われま

す。メーカー・卸・小売を含めた流通業界全体の E D I 化はますます盛んになってきており、とりわけ、メーカー・卸間の取引は E D I が前提の取引になりつつあります。このことは、比較的 E D I の対応が遅れていた中小メーカーや中小卸への E D I 推進、普及へのインパクトとなっており、必然的に当社 E D I サービスを利用するメーカーや卸の増加につながり、結果的に当社の売上、利益に寄与することになってまいります。

さらに、従来、当社が取り扱うデータは、メーカー・卸間の商取引上のデータが中心でありましたが、これに加え、最近の流通テクノロジーの進展に伴い、今後は S C M (サプライチェーンマネジメント) に代表されるように、メーカーにおける製品製造の資材調達からその製品が消費者の手に渡るまでのすべてのプロセスを効率化、改善、管理して行くためのデータが必要とされてきています。具体的には、物流センターにおける日々の在庫データや出荷データ、資材調達のためのデータなど、従来ごく一部でしか利用されていなかったデータの利用が増加し、当社の売上に寄与するようになってきます。

このようなニーズに答えるため、当社は平成 13 年 8 月に W e b 資材 E D I を開発し、資材調達データの E D I サービスを普及・拡大しつつあります。

また、今後期待できるものとして、データベースサービス、バイヤーズネットサービスがあげられます。メーカー間の競争の方向として、市場管理や商品育成など、よりきめ細かなマーケティング戦略が要求されています。当社の提供するサービスはこのマーケティング戦略の基本となるデータを提供するものであり、メーカーにとっては大変付加価値の高いものであります。しかしながら、一部の大手メーカーを除いてまだまだ十分な利用がされていないのが現状であります。これらのメーカーを対象に、今後データの利用方法、分析方法など、基本的な部分について、当社として新たなサービスを開発、提供することで大きなビジネスチャンスになる可能性があります。また、単にコンテンツ・ビジネスとしてデータを切り売りするだけでなく、データベースに分析ツールを組み合わせてリアルタイムに顧客に加工データを提供するアプリケーション・サービス・プロバイダー (A S P) としての事業展開についても視野に入れており、すでに数社のメーカーからの要請も出てきています。

以上のように、従来、当社としてはメーカー・卸間の取引業務の効率化を視点に事業展開をすることにより、メーカー・卸の業務効率化に貢献しつつ、売上、利益を確保してまいりましたが、今後は、これに加え、メーカー・卸におけるマーケティング展開のレベルアップのための情報提供を視点とした新たなサービスを展開することにより、更なる売上、利益の確保が期待できる状況にあります。

(b) 売上高

(E D I 事業)

新規接続本数 488 本 (前期比 10.8% 増)、通信処理量 968 百万レコード (前期比 5.6% 増) で計画しております。

W e b 受発注サービスの拡大として、新規利用メーカー 3 社、新規利用卸店 42 社を計画しております。

全体で 1,755,600 千円 (前期比 5.4% 増) で計画しております。

(データベース事業)

275,200 千円 (前期比 3.6% 増) で計画しております。

(その他事業)

C R P サービスを 21,000 千円、シングルポータルを 14,700 千円、その他 18,500 千円、合計 54,200 千円 (対前期比 1.5% 増) で計画しております。

ご注意 : この文章は当社の平成 16 年 7 月期の業績見通しを一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資に際しては、当社が作成する新株式発行届出目論見書 (訂正事項分を含む) を必ずご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行なうようお願いいたします。

(c) 売上原価

前期と同様の方法により設定しておりますが、E D I 事業ではサーバーの増設費用を加味し1,018,700 千円、データベース事業 63,300 千円、その他事業 99,000 千円で計画しております。

(d) 販売費及び一般管理費

(人件費)

定期昇給分約 2 % と、営業体制の強化を目的とした従業員の増強(1 名) と管理要員の増強(1 名) を加味し、約 30,600 千円増の 387,500 千円で計画しております。

(その他)

前期にセキュリティ強化費用を見込み、260,500 千円で計画しております。

(e) 営業外収益

前期とほぼ同様の 2,200 千円を見込んであります。

(f) 営業外費用

株式公開関連費用として 32,200 千円を組み込んであります。

以上

ご注意 : この文章は当社の平成 1 6 年 7 月期の業績見通しを一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資に際しては、当社が作成する新株式発行届出目論見書(訂正事項分を含む) を必ずご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行なうようお願いいたします。